

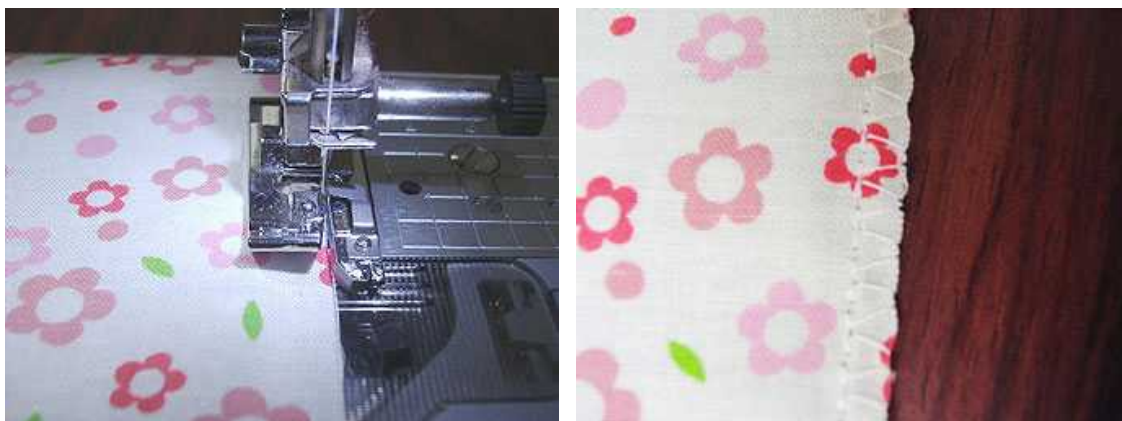
幼稚園ねっとお裁縫部 「巾着式コップ袋の作り方」

用意するもの

材料: 薄手の布(48センチ×20センチ)、ひも(丸ひもや、リボンなど)、50センチを2本

道具: ミシン・ひも通し(なければ安全ピンでも可)

布を縦方向(伸びない方が縦)に置き、縦48センチ×横20センチに裁断します(布は平らなところに置き、正確に裁断しましょう)。布のミミではない端には、ジグザグミシンをかけてほつれを防ぎます。アップリケを縫い付ける場合は、この時点で縫い付けておきましょう。



中表(柄のある表地を内側に)に折ります。輪になった部分が巾着の底になります。



上端から、1センチ、3.5センチ(出来上がり線)、8センチ(縫いどまり)のところにチャコペンで印をつけます(水で消せるペンも便利!)。両脇は1センチの縫い代の印をつけておくと縫いやすいですが、ミシンの押さえやガイドに合わせて縫ってもOK! 両脇とも、縫いどまり(上部から8センチの印)から縫い始め、輪になっている下端まで縫います。



次は、上部8センチ縫わずに残したあきの部分を処理します。この部分があいていることで、幼児にも開け閉めしやすい巾着袋になります。写真のように縫いしろを左右に割り、周りにミシンをかけます。このとき、アイロンをかければ、まち針なしでも縫えますので初心者の方にはオススメです。角を縫うときは、ミシンの針をさしたまま止めて、押さえをあげ、布の方向を変えます。



特にあきどまりは2～3度返し縫して、補強しておきましょう。



次はひも通し口を作ります。上端から1センチの印をつけたところを折ります。



さらに上端から3.5センチの印のところで折り、その端を縫いましょう。ひもの出入り口になる両端は、2～3回返し縫をして補強することも忘れずに。



最後にマチ部分を縫います。下部の輪になった両側の角をそれぞれ二等辺三角形に開き、底辺がだいたい7センチくらいになるラインに印をつけ縫います。



ひも通しを使い好みのひも(リボン)を左右に1本ずつ通し、結びます。



ひも通しがない場合は、安全ピンで代用して。



これで出来上がり！今回はできあがり後、アイロンでアップリケをしてみました。お子様のマークを決めて、他の手作りグッズもアップリケをしてあげると、新入園の子にも自分の持ち物がわかりやすいですよ。



ラビリーさんから「お裁縫3つのポイント」

ポイント1 裁断、印つけは正確にしましょう！

ポイント2 子どもの使うものです。縫い始めと縫い終わりは返し縫を忘れずに、丈夫に仕上げましょう！

ポイント3 面倒でも折り目にアイロンをこまめにかけて、縫う作業がとて楽ですよ！